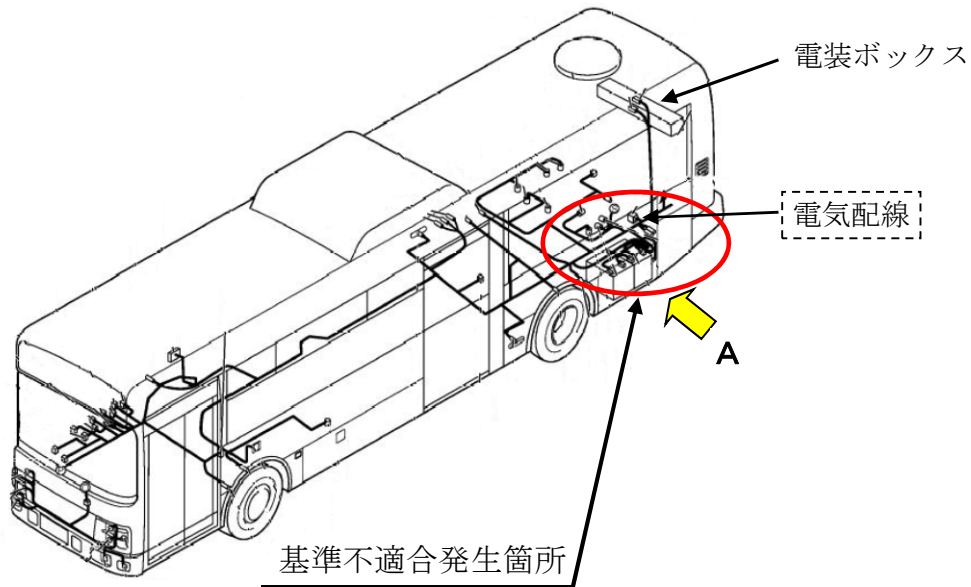
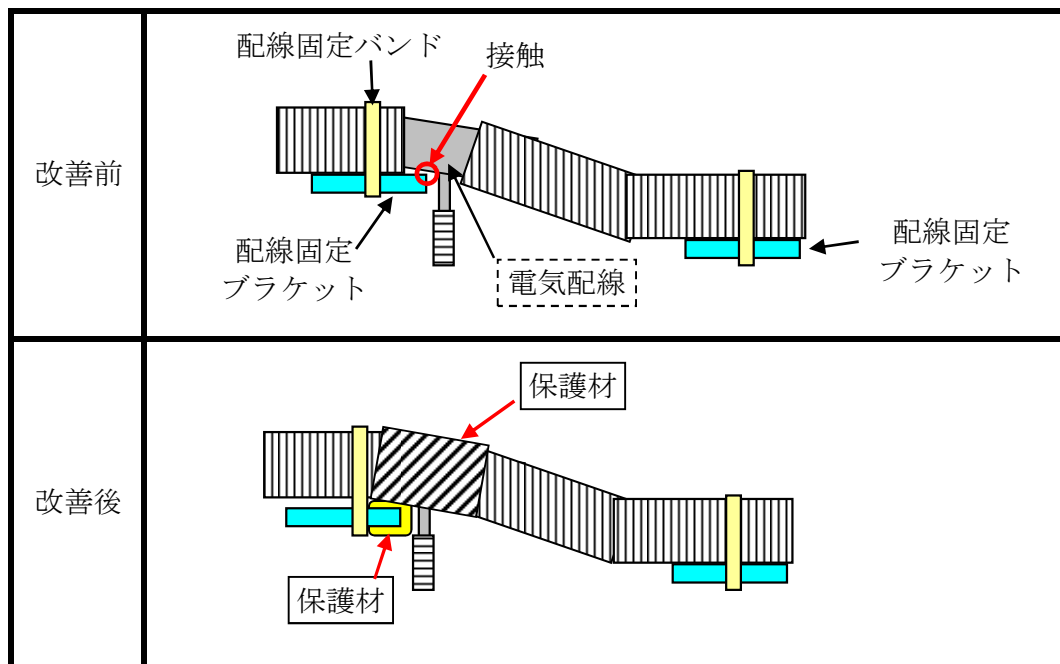


改善箇所説明図①



路線バスのエンジンルーム内の電気配線において、配線の取付け位置が不適切なため、配線と配線固定ブラケットの端面が接触しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、配線がショートし、最悪の場合、エンジンが停止し、再始動が出来なくなるおそれがある。

エンジンルーム内の電気配線（矢視A）



改善の内容：

全車両、エンジンルーム内電気配線の取付け位置を点検し、配線と配線固定ブラケットの隙間が狭いものは、配線及び固定ブラケットに保護材を取付ける。なお、配線に損傷が見られるものは、配線を修理する。

識別：配線固定ブラケットに白色ペイントを塗布する。

注： 内は必要に応じ追加する部品を示す。
 内は必要に応じ修理する部品を示す。